

日仏翻訳学夏期セミナー

フランス翻訳学会(SoFT)

www.societe-francaise-traductologie.com

2016年8月29日 - 9月2日

- 会場 -

〒75013 パリ、フランス大通り(avenue de France) 190
レゾ・アジ(Réseau Asie)、ルフランス館(Bâtiment Le France)
A サイド、6 階、638-641 室
(最寄駅：地下鉄 Quai de la gare 駅)

- ご登録、お問い合わせは下記まで -

soft.univ.paris10@gmail.com

- 登録期間 -

2016年4月4日(月) - 7月15日(金)

登録料：300ユーロ(5日間)

- 主催者 -

ジュリー・ブロック (京都工芸繊維大学教授、フランス翻訳学会(SoFT)企画委員)
フロランス・ロテル＝リプシュタイン (アルトワ大学准教授、フランス翻訳学会(SoFT)代表)

概要

フランス翻訳学会(SoFT)は今夏、パリにて世界初の日仏翻訳学夏期セミナーを開催する。

現代の翻訳者はゼロから翻訳を行うのではなく、翻訳史や、言語学・哲学・記号学にもとづく一貫した理論を意識せざるを得ない。本セミナーは、今後いっそう進展すべき翻訳学（トランスレーション・スタディーズ）について、実践的、理論的アプローチを行うものである。

今回は日本語からフランス語への翻訳では、和歌や俳句などの文学作品から漫画まで、多岐にわたるジャンルの翻訳に関わる。フランス語から日本語への翻訳では、ロンサールやラブレー、スタンダール、アラゴンなど多様な作家やその文体に焦点をあてる。

5日間の日程それぞれに以下のテーマを当て、各日とも午前中は講義（45分×4コマ）、午後はワークショップ（90分×2コマ）を行う。参加者は午前中に学んだ理論を用いつつ、午後実際に翻訳作業を体験できるよう工夫されている。

①翻訳の歴史 ②翻訳の理論と方法論 ③日本古典文学の翻訳 ④文体の翻訳 ⑤文学ジャンルの翻訳

2つの英語講義を除いて、開講される20の講義はフランス語で行われ、内容としては日本語から／日本語への翻訳をバランスよく扱う。日本人・フランス人ほぼ同数から成る20名の講師は、哲学者、文学者などに加えて、著名な翻訳者・翻訳学者である。2名の講師以外はみな日本語・フランス語双方を操り、講義およびワークショップは日本人・フランス人の受講者を等しく対象とするものである。

「人間学会館」(Fondation Maison des Sciences de l'homme)の6階に位置する会場は、フランソワ・ミッテラン図書館(BNF)も近い雰囲気の良い地区にあり、参加者はセミナーの期間、心地よく落ち着いて学ぶことができる。また、参加者・講師を問わず食事を共にする機会なども設けており、講義やワークショップ以外の時間も議論を深めることができる。本セミナーは翻訳および翻訳学に関わる интенシヴ・コースであると同時に、日仏両国の友好的な交流の場を与えるものである。

プログラム

午後の部：講義

8月29日(月)	8月30日(火)	8月31日(水)	9月1日(木)	9月2日(金)
翻訳の歴史	翻訳の理論と方法論	日本古典文学の翻訳	文体の翻訳	文学ジャンルの翻訳
9h-9h45	9h-9h45	9h-9h45	9h-9h45	9h-9h45
上原 麻有子 西洋人称代名詞の日本 哲学における受容	ジャン＝ルネ・ラドミラル 翻訳学的言説の階層	ミシェル・ヴィエイヤール＝パロン 紡がれた錦文様 —和歌における形式、 主題、言語、レトリック	鷺見洋一 和訳における「カセット 効果」をいかに乗り越 えるか？	伊藤玄吾 フランスルネサンス期の テキストの和訳
9h45-10h30	9h45-10h30	9h45-10h30	9h45-10h30	9h45-10h30
吉川順子 19世紀フランスにおける 日本古典詩の翻訳史	フロランス・ロテル＝リプシュタイン ゲシュタルトから翻訳へ	寺田澄江 古典テキストの不透明 性に直面して	ジュリー・ブロック 詩性をいかに翻訳するか —メシヨニックの 「リズム」を通して	エマニュエル・ロズラン 随筆の翻訳
10h30-10h45 : 休憩	10h30-10h45 : 休憩	10h30-10h45 : 休憩	10h30-10h45 : 休憩	10h30-10h45 : 休憩

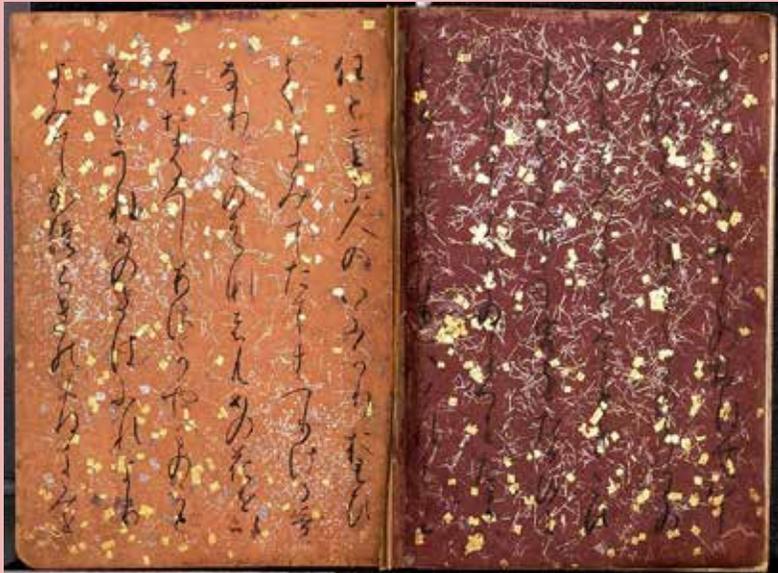
10h45-11h30	10h45-11h30	10h45-11h30	10h45-11h30	10h45-11h30
金子美都子 俳句のフランス語訳 の歴史	オーギュスタン・ベルク 翻訳から「通態性」へ	マリア・キアラ・ミリオレ 『万葉集』の イタリア語訳の戦略	パトリック・オノレ 内田百閒における ユーモアの翻訳	ミヤコ・スロコンブ 漫画の翻訳
11h30-12h15	11h30-12h15	11h30-12h15	11h30-12h15	11h30-12h15
西澤一光 解釈学の視点から見た 本居宣長の『古事記』読解	フレデリック・ジラル 道元のテキストに関わる 翻訳の問題	アントニオ・マニエーリ 色と翻訳 —『万葉集』の翻訳に関する 覚書	杉本 圭子 スタンダール『恋愛論』 の文体の翻訳	大嶋厚 歴史書の翻訳 —誰のために、何のために
12h15-14h : 昼食	12h15-14h : 昼食	12h15-14h : 昼食	12h15-14h : 昼食	12h15-14h : 昼食

午後の部：ワークショップ

8月29日(月)	8月30日(火)	8月31日(水)	9月1日(木)	9月2日(金)
翻訳の歴史	翻訳の理論と方法論	日本古典文学の翻訳	文体の翻訳	文学ジャンルの翻訳
14h-15h30	14h-15h30	14h-15h30	14h-15h30	14h-15h30
<p>638室</p> <p>上原 麻有子 一人称を日本語でいかに 翻訳するか？</p>	<p>638室</p> <p>ジャン＝ルネ・ラドミラル アシスタント：鈴木和彦 『翻訳のための定理』 の和訳</p>	<p>638室</p> <p>ミシェル・ヴィエイヤール＝パロン 和歌の問題 —技術と翻訳</p>	<p>638室</p> <p>鷺見洋一 話法の視点をいかに 定めるか？</p>	<p>638室</p> <p>伊藤玄吾 ロンサールを翻訳する</p>
<p>または 640-641室</p> <p>吉川順子 日本古典詩を翻訳する</p>	<p>または 640-641室</p> <p>フロランス・ロテル＝リプシュタイン アシスタント：横田悠矢 「意味論的形式」を用いた アラゴンの翻訳</p>	<p>または 640-641室</p> <p>寺田澄江 『枕草子』の二つの フランス語訳の比較 —翻訳か翻案か</p>	<p>または 640-641室</p> <p>ジュリー・ブロック 詩における「出来事」 を翻訳する</p>	<p>または 640-641室</p> <p>エマニュエル・ロズラン 「調子」を翻訳する</p>

15h30-17h	15h30-17h	15h30-17h	15h30-17h	15h30-17h
638 室 金子美都子 俳句を翻訳するとは？	638 室 オーギュスタン・ベルク 和辻哲朗による 「人間存在の構造契機」 の西洋諸言語への翻訳	638 室 マリア・キアラ・ミリオレ 日本古典文学の翻訳 の戦略	638 室 パトリック・オノレ 綿矢りさにおける ユーモアを翻訳する	638 室 ミヤコ・スロコンブ 漫画を翻訳する
または 640-641 室 西澤一光 古事記の書法の背後に ある思考体系は翻訳 できるのか？	または 640-641 室 フレデリック・ジラルール 古典文学における仏教 テキストの翻訳問題	または 640-641 室 アントニオ・マニエーリ 古典文学における 色を翻訳する	または 640-641 室 杉本 圭子 スタンダール『恋愛論』 における恋愛の表現を 翻訳する	または 640-641 室 大嶋厚 歴史書を翻訳する ために
17h-17h30 : 休憩	17h-17h30 : 休憩	17h-17h30 : 休憩	17h-17h30 : 休憩	17h-17h30 : 休憩
17h30-18h15 議論	17h30-18h15 議論	17h30-18h15 議論	17h30-18h15 議論	17h30-18h15 議論
19h30 : 夕食(自由参加)	19h30 : 夕食(自由参加)	19h30 : 夕食(自由参加)	20h : 懇親会	18h30 : アペリティフ

講師



伊藤玄吾（同志社大学 准教授）

上原麻有子（京都大学 教授）

ミシェル・ヴィエイヤール＝バロン（フランス国立東洋言語文化研究所 教授）

大嶋厚（国際交流基金 企画部事業戦略課 専門役 / 翻訳家）

パトリック・オノレ（翻訳家）

金子美都子（清心女子大学 名誉教授）

フレデリック・ジラル（フランス極東学院 教授）

杉本圭子（明治学院大学 教授）

鈴木和彦 パリ第10大学（博士後期課程）本セミナーアシスタント

鷺見洋一（慶応義塾大学 名誉教授）

ミヤコ・スロコンブ（翻訳家 / 通訳者）

寺田澄江（フランス国立東洋言語文化研究所 教授）

西澤一光（新潟経営大学 准教授）

ジュリー・ブロック（京都工芸繊維大学 教授）

オーギュスタン・ベルク（社会科学高等研究院 名誉教授）

アントニオ・マニエーリ（ナポリ大学 研究員）

マリア＝キアラ・ミリオレー（サレント大学 准教授）

ジャン＝ルネ・ラドミラル（パリ第10大学 名誉教授）

エマニュエル・ロズラン（フランス国立東洋言語文化研究所 教授）

フロランス・ロテル＝リプシュタイン（アルトワ大学 准教授）

横田悠矢（パリ第7大学 博士後期課程）本セミナーアシスタント

吉川順子（京都工芸繊維大学 准教授）